

新 旧 対 照 表

地域再生計画の名称：開府500年を契機とするVRコンテンツを活用した賑わいの創出事業計画

新	旧
<p>地域再生計画</p>	<p>地域再生計画</p>
<p>1 地域再生計画の名称 (略)</p>	<p>1 地域再生計画の名称 (略)</p>
<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p>	<p>2 地域再生計画の作成主体の名称 (略)</p>
<p>3 地域再生計画の区域 (略)</p>	<p>3 地域再生計画の区域 (略)</p>
<p>4 地域再生計画の目標 4-1 地方創生の実現における構造的な課題 (略) 4-2 地方創生として目指す将来像</p>	<p>4 地域再生計画の目標 4-1 地方創生の実現における構造的な課題 (略) 4-2 地方創生として目指す将来像</p>
<p>本市の歴史的な節目となる平成31年の「こうふ開府500年」や平成33年の「武田信玄公生誕500年」を契機として、「自然」「歴史・伝統」「産業」「生活文化」など、地域に根付いた個性的で豊富な資源を発見、または再発見する中で、「こうふ」でなければ実体験することができない新しいコンテンツ（VRコンテンツ）を構築し、現在整備を進めている甲府駅南口の甲府市観光案内所（平成29年夏完成）、武田氏館跡ガイダンス施設（平成31年4月完成）、甲府城周辺整備に係る歴史文化ゾーンなど</p>	<p>本市の歴史的な節目となる平成31年の「こうふ開府500年」や平成33年の「武田信玄公生誕500年」を契機として、「自然」「歴史・伝統」「産業」「生活文化」など、地域に根付いた個性的で豊富な資源を発見、または再発見する中で、「こうふ」でなければ実体験することができない新しいコンテンツ（VRコンテンツ）を構築し、現在整備を進めている甲府駅南口の甲府市観光案内所（平成29年夏完成）、武田氏館跡ガイダンス施設（平成31年4月完成）、甲府城周辺整備に係る歴史文化ゾーンなど</p>

の交流施設をベースに「人」の回遊性を生み出すとともに、誘客促進の各種イベントにおいて活用するなど、地域経済活動を継続的かつ安定的に下支えすることができる新たな地域資源として確立させるほか、学業や生涯学習の教材コンテンツとして活用し、地元住民の郷土愛や愛着心、また地域ならではの資源や文化を護り育てようとする意識を継承・醸成するとともに、高齢者等の健康づくりに視点を据えた活用や将来のまちづくりに対する市民意識の醸成をも狙いとする中で、高いホスピタリティを持って地域内や来訪者等との交流を深め、人と人との繋がりによる賑わいと魅力に溢れた「まち」を創出する中で、誰もが「訪れたいまち」、「暮らしたいまち」として選ばれるまちづくりを推進する。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加 分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人	950人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人	2,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人	35人

の交流施設をベースに「人」の回遊性を生み出すとともに、誘客促進の各種イベントにおいて活用するなど、地域経済活動を継続的かつ安定的に下支えすることができる新たな地域資源として確立させるほか、学業や生涯学習の教材コンテンツとして活用し、地元住民の郷土愛や愛着心、また地域ならではの資源や文化を護り育てようとする意識を継承・醸成するとともに、高齢者等の健康づくりに視点を据えた活用や将来のまちづくりに対する市民意識の醸成をも狙いとする中で、高いホスピタリティを持って地域内や来訪者等との交流を深め、人と人との繋がりによる賑わいと魅力に溢れた「まち」を創出する中で、誰もが「訪れたいまち」、「暮らしたいまち」として選ばれるまちづくりを推進する。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	650人	900人	2,500人
VRコンテンツの利用者 数	900人	1,100人	4,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	25人	35人	95人

<p>5 地域再生を図るために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要 (略)</p> <p>5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 (略)</p> <p>① ~② (略)</p> <p>③事業の内容:「こうふ開府500年記念事業」の基本コンセプトである、「過去に学ぶ」「現在を見つめる」「未来につなぐ」の各ステージに応じて各種VRコンテンツを構築し、観光振興・産業振興・担い手の育成・高齢者等の健康増進、加えて、次代に引き継ぐ「まちづくり」の方向性(未来の「こうふ」のイメージ)の共有化などに活用する。</p> <p>【VRコンテンツ(案)】</p> <p>1) 武田城下の復元(武田24将の屋敷跡の復元(500年前))</p>	<p>5 地域再生を図るために行う事業</p> <p>5-1 全体の概要 (略)</p> <p>5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業 (略)</p> <p>①~② (略)</p> <p>③事業の内容:「こうふ開府500年記念事業」の基本コンセプトである、「過去に学ぶ」「現在を見つめる」「未来につなぐ」の各ステージに応じて各種VRコンテンツを構築し、観光振興・産業振興・担い手の育成・高齢者等の健康増進、加えて、次代に引き継ぐ「まちづくり」の方向性(未来の「こうふ」のイメージ)の共有化などに活用する。</p> <p>【VRコンテンツ(案)】</p> <p>1) 武田城下の復元(武田24将の屋敷跡の復元(500年前))</p>
--	---

<p>2) 舞鶴城下の復元 (300 年前)</p> <p>3) 近世の洋風建築物の復元 (<u>150</u> 年前)</p> <p>4) リニア中央新幹線の開通を見据えた 100 年先の「こうふのまち」の創造 など</p> <p>【活用対象事業(案)】</p> <p>1) 交流拠点において活用するとともに、各種誘客イベント(「小江戸甲府の夏祭り(毎年8月11日に開催)」、「こうふ開府500年記念事業(平成31年から33年)」など、まちの賑わいの創出に活用</p> <p>2) 次代の担い手(小中学生)への教材としての活用</p> <p>3) 高齢者等のヘルスケアの取組として、外出機会の増進事業((仮称)ウォーキングポイント事業)への活用</p> <p>4) 幅広い市民層に将来のまちづくりに対する意識付け(ビジョンの共有化)のツールとして活用</p> <p>④ 事業が先導的であると認められる理由</p> <p>【自立性】</p> <p>本事業の最終的な実施主体は、「甲府市観光協会」を予定しているが、平成29年度から<u>平成31年度の3年間</u>は、「こうふ開府500年記念事業実行委員会」や「小江戸甲府の夏祭り実行委員会」の構成又は協力団体として参画することで、自主財源の確保をはじめとする事業スキーム等を確立し、自立した団体運営を目指していく。</p> <p>4年目以降は、本事業により制作したコンテンツを活用し、自主財源を確保する取組みとして、コンテンツのプロモーション、端末機器等の貸付、コンテンツの利用アクセサリーの物販などを行い、新たな</p>	<p>2) 舞鶴城下の復元 (300 年前)</p> <p>3) 近世の洋風建築物の復元 (<u>100</u> 年前)</p> <p>4) リニア中央新幹線の開通を見据えた 100 年先の「こうふのまち」の創造 など</p> <p>【活用対象事業(案)】</p> <p>1) 交流拠点において活用するとともに、各種誘客イベント(「小江戸甲府の夏祭り(毎年8月11日に開催)」、「こうふ開府500年記念事業(平成31年から33年)」など、まちの賑わいの創出に活用</p> <p>2) 次代の担い手(小中学生)への教材としての活用</p> <p>3) 高齢者等のヘルスケアの取組として、外出機会の増進事業((仮称)ウォーキングポイント事業)への活用</p> <p>4) 幅広い市民層に将来のまちづくりに対する意識付け(ビジョンの共有化)のツールとして活用</p> <p>④ 事業が先導的であると認められる理由</p> <p>【自立性】</p> <p>本事業の最終的な実施主体は、「甲府市観光協会」を予定しているが、平成29年度から<u>平成33年度の5年間</u>は、「こうふ開府500年記念事業実行委員会」や「小江戸甲府の夏祭り実行委員会」の構成又は協力団体として参画することで、自主財源の確保をはじめとする事業スキーム等を確立し、自立した団体運営を目指していく。</p> <p>4年目以降は、本事業により制作したコンテンツを活用し、自主財源を確保する取組みとして、コンテンツのプロモーション、端末機器等の貸付、コンテンツの利用アクセサリーの物販などを行い、新たな</p>
--	--

事業収入を得る中で自主・自走を目指す。

【官民協働】から【その他の先導性】

(略)

⑤ 重要業績評価指標 (KPI) 及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加 分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人	950人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人	2,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人	35人

事業収入を得る中で自主・自走を目指す。

【官民協働】から【その他の先導性】

(略)

⑤ 重要業績評価指標 (KPI) 及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	650人	900人	2,500人
VRコンテンツの利用者 数	900人	1,100人	4,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	25人	35人	95人

<p>⑥ (略)</p> <p>⑦ 交付対象事業に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】 <p>総事業費 <u>54,200千円</u></p> <p>⑧ 事業実施期間</p> <p>地域再生計画認定の日から<u>平成32年3月31日(3ヵ年度)</u></p> <p>⑨ (略)</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>(略)</p> <p>6 計画期間</p> <p>地域再生計画認定の日から<u>平成32年3月31日</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法</p> <p>(略)</p> <p>7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容</p> <p><u>【数値目標】</u></p>	<p>⑥ (略)</p> <p>⑦ 交付対象事業に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】 <p>総事業費 <u>67,600千円</u></p> <p>⑧ 事業実施期間</p> <p>地域再生計画認定の日から<u>平成34年3月31日(5ヵ年度)</u></p> <p>⑨ (略)</p> <p>5-3 その他の事業</p> <p>(略)</p> <p>6 計画期間</p> <p>地域再生計画認定の日から<u>平成34年3月31日</u></p> <p>7 目標の達成状況に係る評価に関する事項</p> <p>7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法</p> <p>(略)</p> <p>7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容</p> <p><u>【数値目標】</u></p>
---	---

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加 分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人	950人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人	2,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人	35人

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法
(略)

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	147,000人	50人	300人	600人
VRコンテンツの利用者 数	—	500人	700人	800人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	—	—	15人	20人

	平成32年度 増加分 (4年目)	平成33年度 増加分 (5年目)	KPI増加 分の累計
休日午後の県外来訪者 滞在人口数(滞在時間2 時間以上が対象)	650人	900人	2,500人
VRコンテンツの利用者 数	900人	1,100人	4,000人
VRコンテンツを教育教 材として活用した人材 育成事業への参加者数 及びVRコンテンツを活 用した高齢者等の健康 増進事業への参加者数	25人	35人	95人

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法
(略)